



新日鐵住金

株 主 の 皆 様 へ

2014

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、このたびは、当社グループの経営方針や経営の概況をお伝えいたしたく、本冊子をお届けいたしますので、ご高覧賜りたく存じます。

今後も当社グループへの変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

2014年3月
新日鐵住金株式会社



鹿島製鐵所

株主の皆様へ

株主の皆様の日ごろのご理解とご支援に、心からお礼申し上げます。

足もとの業績は 好調に推移しています

当社の業績は、一昨年のスタート以降、概ね好調に推移しています。日本経済は政策効果や行き過ぎた円高の修正等により、回復に向かい始めており、国内鉄鋼需要もお客様の生産量が増加し経営状況も改善したことなどから増加しました。

こうしたなか、当社は、グループ一丸となって統合効果の早期かつ最大限の発揮に向け、懸命な経営努力を重ねてまいりました。中期経営計画についても着実に実行しており、ROS(売上高経常利益率)、資産圧縮、D/Eレシオ(有利子負債自己資本比率)などの財務指標は、目標とする水準の達成に向けて、順調に推移しています。

「総合力世界No.1鉄鋼メーカー」の 早期実現を目指してまいります

当社を取り巻く経営環境

今後の米国経済は堅調に推移すると期待されますが、欧州では本格的な景気回復には時間を要する見込みです。中国経済も諸々の問題を抱えており、新興国経済も



友野社長兼COO(左)と宗岡会長兼CEO(右)

減速が指摘されるなど、先行きは不透明感を強めています。一方、日本経済は今後、4月の消費税増税の影響を見極める必要がありますが、引き続き自律的回復に向けた動きが強まっています。

世界の鉄鋼需要は、中長期的には現在の年間15億トンから2030年前後には20億トンに達するものと期待されていますが、世界で約5億トンにもものぼる需給ギャップは、当面解消されない見通しです。特に、当社のメインマーケットである東アジアでは、大規模かつ最新鋭設備による生産能力の増強が本格化します。

こうした環境のなか、当社は、中期経営計画の実行による「競争力」の着実な強化により、文字通り「総合力世界No.1鉄鋼メーカー」の早期実現を目指してまいります。

国内における取組み

― 抜きんでた製造実力を発揮し続けます

国内においては、各製造ラインがグローバル供給体制の中でのマザー工場として、全ての面で、抜きんでた製造実力を発揮し続けてまいります。そのために、中期経営計画に織り込んだ最適生産体制の実現とともに、4月に実施予定の製鉄所組織の統合・再編成（詳しくは4頁「製鉄所の組織統合について」をご参照ください。）などによって組織のスリム化、業務運営の効率化、人的資源の最大活用を図るなど、徹底的に体質を強化してまいります。



整備技能向上へ向け
2013年10月に名古屋製鐵所で開催された
第2回電気計装部門技能競技大会

海外における取組み

― 伸びゆく需要を捕捉する体制をつくります

海外においては、伸びゆく需要を捕捉する体制をつくる必要があります。とりわけ、今後とも鉄鋼需要の伸びが期待されているアセアンを含むアジア、および景気回復に伴い自動車販売台数が増加していく見込みの米国を含む北米への対応は重要であり、当社は既に布石を打っています。当社の先進技術が発揮できるハイグレード(高級品)分野を中心に、成長が見込まれる地域での供給体制の強化・充実に取り組んでまいります。また、こうした新しい案件への取組みとともに、既存の海外事業についても事業環境の変化等に伴う改善や収益力の強化を迅速に進めてまいります。



買収により取得することとなった米国アラバマ州の工場（全景と酸洗ライン）

製鉄以外の各事業分野

― 競争力基盤の強化とグループ総合力のさらなる発揮を図ります

製鉄以外の事業分野については、各社が直面する経営課題に自律的に取り組み、競争力基盤を強化するとともに、グループ全体で事業シナジーをさらに発揮できるよう図ってまいります。

今年度の業績見通しと 当期末の配当方針について

今年度の連結業績につきましては、売上高5兆4,500億円、経常利益3,400億円、当期純利益2,200億円となる見通しです。

当期末の剰余金の配当につきましては、既定の基本方針に従い、当期の業績見通し等を踏まえ、1株につき3円（年間配当金としては1株につき5円、連結配当性向約21%）とさせていただきます方針といたします（詳しくは3頁「業績概況 2014年1月30日公表」をご参照ください。）。

なお、本年1月17日および1月20日に発生しました名古屋製鐵所の停電に伴う煙の発生により、近隣住民の皆様をはじめ、関係者の皆様に多大なるご迷惑、ご心配をおかけいたしましたことを深くお詫び申しあげるとともに、再発防止に万全を期す所存であります。

株主の皆様には、今後ともご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役会長兼CEO

宗岡 正二

代表取締役社長兼COO

友野 宏

業績概況

2014年1月30日公表

2013年度決算見通しおよび当期末配当方針について

2013年度決算見通し

事業環境について

世界経済は全体として緩やかに成長し、日本経済は着実に持ち直しているなか、鉄鋼需要は、国内向けは土木分野や自動車・産業機械を中心とした製造業で増加し、輸出も堅調であるものの、依然継続している中国鉄鋼メーカーの高生産の影響には、引き続き注視していく必要があります。

2013年度決算見通しについて

2013年度の業績は、連結経常利益は3,400億円、連結当期純利益は2,200億円を見込んでおり、前年度から増益となる見通しです。

中期経営計画の進捗状況について

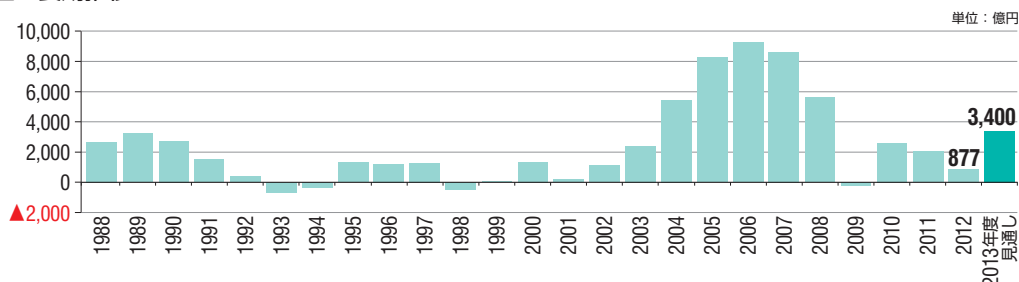
当社は、「技術先進性の発揮」「世界最高のコスト競争力の実現」「グローバル戦

略の推進」「製鉄グループ会社の体質強化」「最適生産体制の構築」の柱に沿って中期経営計画の施策を強力に推進しております。統合シナジーは順調に発揮されており、ROS(売上高経常利益率)、資産圧縮、財務体質(D/Eレシオ：有利子負債自己資本比率)は中期経営計画のミニマム目標を、初年度で前倒し達成する見通しです。

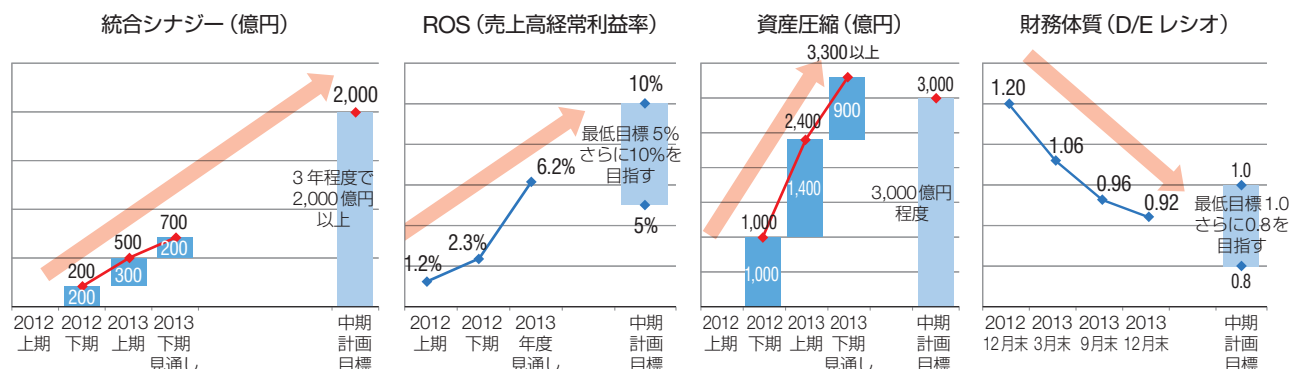
2013年度決算見通し(2012年度上期は旧新日鐵と旧住金の単純合算)

	旧新日鐵	旧住金	上期	下期	2012年度	単位：億円	
						第3四半期実績(4月~12月)	2013年度見通し(対2012年度)
売上高	19,182	6,936	26,118	24,716	50,835	40,374	54,500 (+3,665)
連結経常利益	195	108	303	573	877	2,822	3,400 (+2,523)
税引後当期損益 (1株当たり当期利益)	▲1,766	▲1,338	▲3,104	520 (5.7円)	▲2,584	1,927 (21.2円)	2,200 (24.2円) (+4,784)

連結経常損益の長期推移(2012年度上期以前は旧新日鐵と旧住金の単純合算)



中期経営計画 財務指標の進捗状況



当期末の配当方針について

当社は、業績に応じた利益の配分を基本として、企業価値向上に向けた投資等に必要な資金所要、先行きの業績見通し、連結および単独の財務体質等を勘案しつつ、第2四半期末(中間期末)および期末の剰余金の配当を実施する方針といたしております。「業績に応じた利益の配分」の指標としては、連結配当性向年間20%程度を基準といたします。なお、第2四半期末(中間期末)の剰余金の配当は、中間期業績および年度業績見通しを踏まえて判断することとしております。

当期末の剰余金の配当は、上記方針に従い、当期の業績見通し等を踏まえ、1株につき3円(年間配当金としては1株につき5円、連結配当性向約21%)とさせていただきます方針といたします。

2014年4月1日付 トップ人事について

2014年1月16日開催の取締役会において、以下のとおり、副会長・社長を選定することを決定いたしました。

2014年4月1日以降

代表取締役会長 むねおか しょうじ
宗岡 正二 (現 代表取締役会長兼CEO)

代表取締役副会長 とも の ひろし
友野 宏 (現 代表取締役社長兼COO)

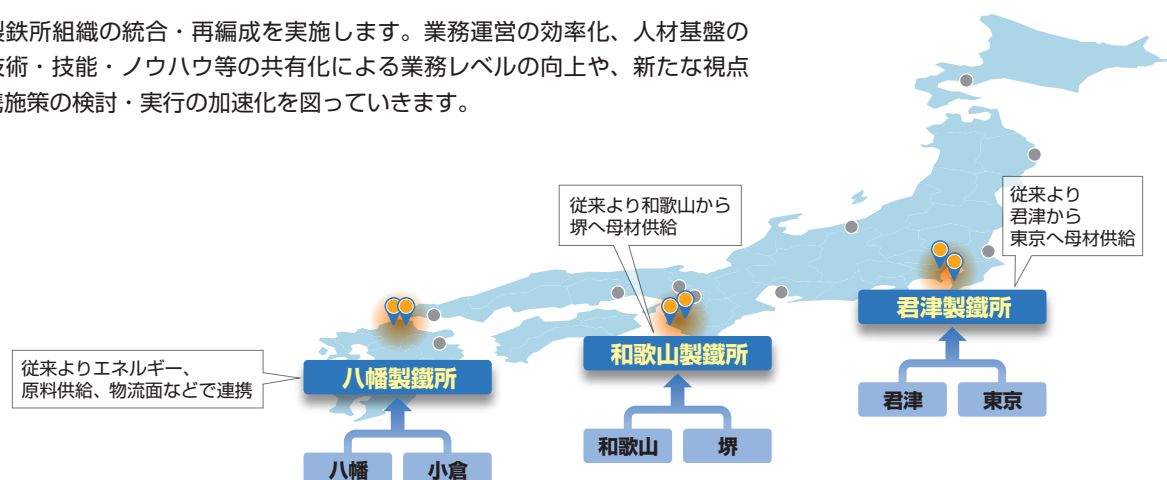
代表取締役社長 しんどう こうせい
進藤 孝生 (現 代表取締役副社長)



宗岡会長(左)、進藤新社長(中央)および友野新副会長(右)

2014年4月1日 製鉄所の組織統合について

近隣製鉄所組織の統合・再編成を実施します。業務運営の効率化、人材基盤の強化、技術・技能・ノウハウ等の共有化による業務レベルの向上や、新たな視点での連携施策の検討・実行の加速化を図っていきます。



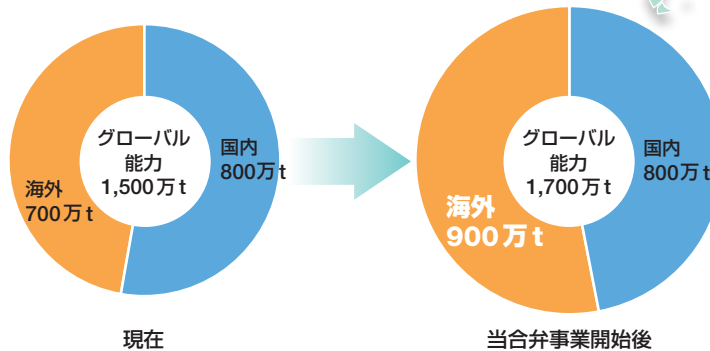
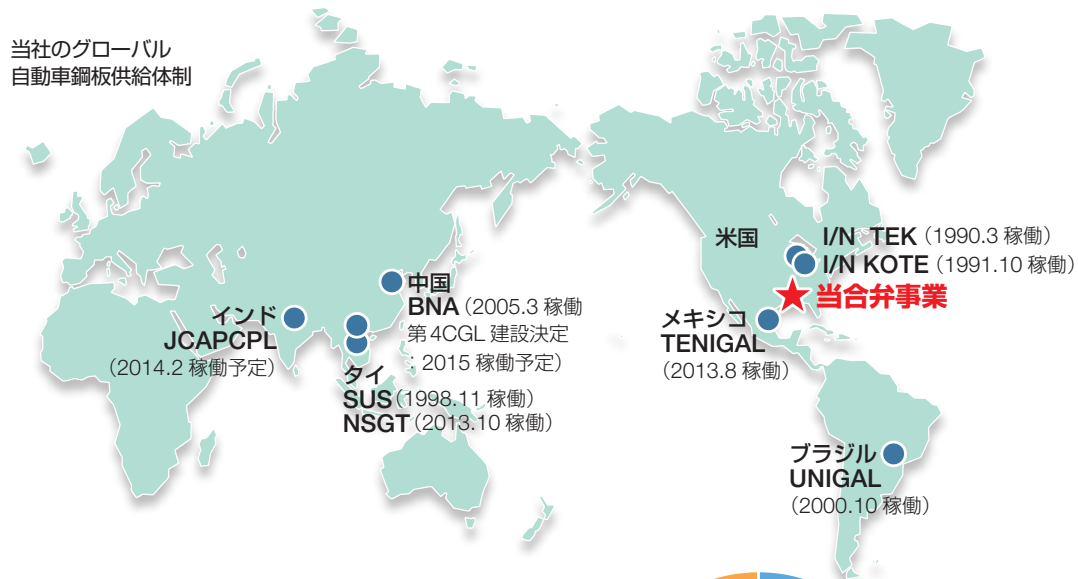
IRカレンダー

2014年5月上旬	2013年度(平成26年3月期)決算発表および期末剰余金配当のご提案
2014年6月上旬	第90回 定時株主総会招集通知のご送付
2014年6月下旬	第90回 定時株主総会

1 グローバル戦略の推進

1-1 北米における自動車鋼板供給体制の強化・拡大

2013年11月、アルセロール・ミタル社と共同で、米国のティッセンクルップ スチール USA LLC (TKUS) 社を買収し、50%ずつの出資で運営する合併事業とすることを合意しました。TKUS社はアラバマ州カルバートに立地する熱延・冷延・溶融亜鉛めっき製品の製造拠点で、当合併事業により米国における自動車鋼板の盤石な製造・供給体制を構築し、お客様のニーズに的確に対応していきます。

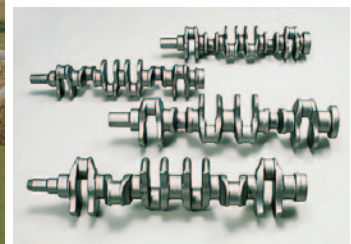


1-2 米国における鍛造クランクシャフト事業の拡大

米国における鍛造クランクシャフト製造販売子会社であるインターナショナル・クランクシャフト社は、第4鍛造プレスラインの設置を決定しました。成長を続ける北米自動車産業への、小型・高性能エンジンに欠かせない鍛造クランクシャフトの供給を拡大していきます。



インターナショナル・クランクシャフト社全景



自動車用小型クランクシャフト

1-3 中国ブリキ合併会社が商業生産を開始

当社と武漢鋼鉄(集団)公司(武鋼)との合併会社である「武鋼新日鉄(武漢)ブリキ有限公司(WINSteel)」は、2013年12月にブリキの商業生産を開始しました。当社の世界最高の技術と武鋼が持つ中国での事業基盤を融合させ、生活水準の向上に伴い増加する中国の食品缶・飲料缶等向けブリキ需要増加を、捕捉していきます。



WINSteel 社工場外観



WINSteel 社電気錫めっき設備

2 技術先進性の発揮

2-1 「LNGタンク用7%ニッケル鋼板」が「2013年日経優秀製品・サービス賞 最優秀賞 日経産業新聞賞」を受賞

マイナス162℃の極低温で保存するLNGのタンクには、これまで半世紀にわたり9%のニッケルを添加した鋼板が主に使われてきましたが、当社の開発した「LNGタンク用7%ニッケル鋼板」は、高価なニッケルの使用量を7%に抑えながら従来品と同等の安全性と強度を実現し、「2013年日経優秀製品・サービス賞 最優秀賞 日経産業新聞賞」を受賞しました。



LNGタンクに使用される7%ニッケル鋼板 ©大阪ガス(株)

2-2 スーパーダイマ[®]が「エコプロダクツ大賞 推進協議会会長賞」を受賞

錆びにくく耐久性の高い鋼板で、防錆塗装や切断後のめっき処理が省略できるなどの特徴を持つ「スーパーダイマ[®]」が、第10回エコプロダクツ大賞において「エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)」を受賞しました。スーパーダイマ[®]は、優れた耐久性・経済性により、ソーラーパネル設置用架台にも数多く採用されています。

スーパーダイマ[®] ソーラーパネル設置用架台使用例



2-3 福島復興・浮体式windファーム実証研究事業 洋上風力発電設備が運転開始

当社を含む11の企業・大学が経済産業省から受託している「浮体式洋上windファーム実証研究事業」は、世界で初めて浮体式洋上風力発電のノウハウを蓄積し、ビジネスモデルを確立するとともに、輸出産業の一つに育成することも期待されています。その第1期事業として、福島沖に設置された発電設備1基が、2013年11月に運転を開始しました。当社グループは施工性・防錆性・強度の高い鋼材や、施工技術の開発を通して貢献しています。

2MWダウンwind型浮体式洋上発電設備「ふくしま未来」(風車直径約80m)
©福島洋上風力コンソーシアム



新日鐵住金グループ企業理念

基本理念

新日鐵住金グループは、常に世界最高の技術とものづくりの力を追求し、優れた製品・サービスの提供を通じて、社会の発展に貢献します。

経営理念

1. 信用・信頼を大切にするグループであり続けます。
2. 社会に役立つ製品・サービスを提供し、お客様とともに発展します。
3. 常に世界最高の技術とものづくりの力を追求します。
4. 変化を先取りし、自らの変革に努め、さらなる進歩を目指して挑戦します。
5. 人を育て活かし、活力溢れるグループを築きます。

株主様へのご優待について

当社は、見学会・説明会をはじめ各種ご優待を実施いたします。詳細につきましては、対象の株主様に別途ご案内申し上げます。

○見学会・説明会

項目	内容	ご案内回数 (実施時期)	ご案内対象
工場見学会へのご招待(抽選)	製鉄所、製造所の見学にご招待いたします。 (年に2回(春と秋)、各回4~5カ所の製鉄所・製造所で開催しますので、その中から1カ所を選択してご応募いただけます。)	年2回ご案内 (3~4月頃、 10~11月頃)	9月末・3月末における 10,000株以上 保有の株主様
経営概況説明会へのご招待(抽選)	東京・大阪をはじめ、各地で開催いたします。	年2回ご案内 (7~9月頃、 2~3月頃)	



(工場見学会)
鉄が造られていく様子を
間近でご覧いただけます。

○各種ご優待

項目	内容	ご案内回数 (実施時期)	ご案内対象
鹿島アントラーズ観戦ご招待(抽選)	J1リーグ戦(ホームゲームまたはアウェイゲーム)にご招待いたします。	年2回ご案内 (4~8月頃、 8~12月頃)	9月末・3月末における 5,000株以上 保有の株主様
当社カレンダーのご送付	当社カレンダーをご送付いたします。	年1回ご送付 (11月下旬~ 12月上旬)	9月末における 7,000株以上 保有の株主様
紀尾井ホール演奏会へのご招待(抽選)	「紀尾井シンフォニエッタ東京」の定期演奏会をはじめとした各種演奏会にご招待いたします。	年2回ご案内 (3~7月頃、 9~2月頃)	9月末・3月末における 50,000株以上 保有の株主様



(経営概況説明会)
役員より、当社の経営戦略を
ご説明いたします。

株式に関する手続き

項目	内容
株主名簿管理人事務取扱所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (電話照会先) 当社株主様専用ダイヤル 0120-785-401(フリーダイヤル) 株主名簿管理人代表電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
住所変更、単元未満株式の買取り・買増しのお申出先	株主様の口座のある証券会社にお申出ください。 (証券会社の口座で株式を管理していらっしゃる場合は、三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。)
未払配当金の支払いのお申出先	株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。